

〔基本方針〕

- 我が国経済の先行きは、アベノミクスの推進により雇用や所得環境の改善が続く中で、民需を中心とした緩やかな回復が見込まれます。また、海外経済に関してもその不確実性や金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がありますが、基本的には回復基調が続いております。このように景気回復の裾野が広がってはおりますが、中小企業にとっては、人手不足の深刻化や後継者不足に伴う事業者の減少が大きな課題となっており生産性革命や働き方改革に官民一体となって取り組む必要があります。
- このような中であって、中小企業は、経済再生をめざす日本経済を支えるとともに、地域経済に活力を与え、雇用を維持・創出していく重要な役割を担っています。
また、ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会など、ビッグイベントを間近に控え、個々の中小企業はこのような状況を変革の機会ととらえ、経営を改善するとともに、地域の資源を強みに勝機として活かし、地域経済を活性化することが期待されています。
- こうした個々の中小企業の活動強化を支え、地域経済の活性化を図ることが商工会議所に求められる役割ですので、県内各商工会議所においては、小規模事業者への経営発達支援計画に基づく伴走型支援を含む、中小企業に対する支援や地域経済活動の充実に一層の力を注いでいるところです。
- 当連合会は、神奈川県地域経済の発展に寄与する商工会議所活動が円滑に推進されるよう、商工会議所間及び関係団体との協力・連携の促進を図り、国・県・市町村ともより一層の連携強化に努めるとともに、各種提言・要望活動を行うなど、他の中小企業支援団体との緊密な協調のもと、県内中小企業の発展と社会福祉の増進に寄与することを目指していきます。
以上の観点から、当連合会においては、本年度、以下に掲げる事業の展開を図ります。

〔事業計画〕

※☆印の項目は新規の取組み

1. 県内商工会議所間の連携・協力の促進及び日本商工会議所並びに関東商工会議所連合会等との連携・協力

商工会議所を取り巻く環境が様々に変化する中で、県内商工会議所間の連携・協力は不可欠であるとともに、日本商工会議所、関東商工会議所連合会等との連携・協力関係も重要性を増しています。

このため、県内商工会議所間の連携・協力の促進を図り、日本商工会議所等の関係団体との情報交換・情報収集及び連絡調整を行い、連携・協力を推進していきます。

(主な取組み)

- ① 各種会議開催等を通じた県内商工会議所間の連携・協力の促進
- ② 日本商工会議所及び関東商工会議所連合会等との連携・協力

とりわけ関東商工会議所連合会の連絡会議参加等を通じ、日頃から連携・協力を図るとともに、首都圏に位置する埼玉県・千葉県とは、昨年発足した「首都圏三県連絡会議」を通じ、課題の共有を図ります。

☆ また、今年度は、「関東商工会議所連合会運営研究会」が小田原・箱根商工会議所管内で開催されることから、関東商工会議所連合会及び同連合会管内商工会議所とも緊密な連携・協力を努めます。

2. 商工業の振興に関する事業

(1) 意見の公表・具申及び要望活動

地域経済に関する行政施策や商工業に係る諸課題等について、県内商工会議所の意向を踏まえ、景気対策・税制・まちづくり及び商工会議所の財政基盤の充実などのほか、ラグビーワールドカップや東京オリンピック開催に合わせた地域経済振興策など、時宜に即した意見の公表・具申及び要望活動を、県当局や関係省庁、地元選出国會議員など、関係方面に積極的かつ多面的に行います。

また、県内中小企業経済5団体と連携・協力し、地域経済の活性化と中小企業・小規模事業者の成長・持続的発展のための合同要請活動を実施するほか、沿線9都府県の経済団体で構成する「リニア中央新幹線早期建設促進経済団体連合会」の行う活動への参加や「首都圏中央連絡自動車道」の建設促進要請など、関係機関・諸団体と連携して具体的な要望行動を行います。

(主な取組み)

① 神奈川県への政策・予算要望

② 神奈川地方最低賃金額の審議に係る神奈川労働局長等への要請

③ 県内中小企業経済5団体（※）による中小企業団体合同要望

※当連合会ほか、神奈川県商工会連合会、神奈川県中小企業団体中央会、公益社団法人商連かながわ、神奈川県商店街振興組合連合会

④ 「首都圏中央連絡自動車道（圏央道）」の整備促進等の要望（合同要望）

※当連合会ほか、神奈川県商工会連合会、横浜市幹線道路網建設促進協議会、相模原市公共交通網の整備を促進する会等との合同要望

⑤ 「リニア中央新幹線」の早期実現に関する要請

※ 神奈川県経済団体協議会（事務局：当連合会）と建設促進経済団体連合会（9都府県、事務局：名古屋商工会議所）を通じた国土交通省等への要請

（2）地域振興の円滑な運営に向けた支援と各種事業の実施

神奈川県からの助成を受け、次の事業を通じて、県内商工会議所の活動を支援します。

① 地域振興指導事業

（主な取組み）

神奈川県と共催による表彰事業の実施

ア 第66回神奈川県優良産業人表彰

イ 第43回神奈川県優良小売店舗表彰

② 青年部・女性会活動事業

（主な取組み）

ア 神奈川県商工会議所青年部連合会への支援

イ 神奈川県商工会議所女性会連合会への支援

③ 専門相談事業

（主な取組み）

県内商工会議所が行う専門家を活用した相談・指導事業への支援

④ 組織力向上事業

(主な取組み)

ア 経営指導員等研修会の実施

イ 中小企業大学校派遣や専門研修会参加等の支援 (派遣・受講費用の助成)

⑤ 一般講習会事業

(主な取組み)

商工会議所が行う講習会・セミナー等への支援

⑥ 商工会議所等活動PR事業

(主な取組み)

当連合会及び県内商工会議所の普及啓発活動

⑦ 地域連携の推進に向けた支援

(主な取組み)

商工会議所が他機関と連携して行う事業への支援

(3) 神奈川県推奨観光土産品の推薦

県内における新たな観光土産品の発掘・育成を目指し、優秀な観光土産品を審査会で選定し、全国推奨観光土産品に推薦することにより、観光土産品の振興を図ります。

(主な取組み)

全国推奨観光土産品の審査のための「神奈川県推奨観光土産品審査会」の開催

3. 組織の運営に関する事業

(1) 総会の開催

定款の定めるところに従い、総会を開催し、連合会の基本的事項について審議し、決議します。
総会時に引き続き、時宜に適ったテーマを取り上げた「トップセミナー」を開催します。

(主な取組み)

- ① 定時総会
- ② 臨時総会

(2) 会頭会議及び常任役員会の開催

地域経済の活性化や県内商工業の振興に係る重要事項を協議するため、会頭会議を開催するとともに、常任役員会を定例的に開催します。

(主な取組み)

- ① 会頭会議
- ② 常任役員会（基本的に専務理事会議に併せて開催）

(3) 政策委員会の開催

連合会としての意見公表・具申等を検討するため、政策委員会を随時開催し、連合会の円滑な事業推進を図ります。

(4) 専務理事会議の開催

定例として毎月、その他必要に応じ臨時に開催し、当面する諸課題について相談協議及び県等との意見交換、県内商工会議所相互間の情報交換等を行います。

(主な取組み)

- ① 定例専務理事会議（8月及び総会月を除く毎月） 9回
- ② 臨時専務理事会議 随時

(5) 事務局長会議等の開催

事務局長会議、中小企業相談部（所）長会議等を開催します。

（主な取組み）

- | | |
|--|-------|
| ① 事務局長会議 | 3回～4回 |
| ② 中小企業相談部（所）長会議 | 3回～4回 |
| ③ 担当者会議（必要に応じて観光連絡担当者会議をはじめ、
業務別担当者会議を開催します。） | 随時 |

(6) 神奈川県商工会議所女性会連合会への支援

神奈川県商工会議所女性会連合会の事務局として、県内商工会議所女性会と緊密に連携して、女性会連合会の一層の発展を支援します。

（主な取組み）

- | | | | |
|--------------|----|---------------|----|
| ① 総会・会員大会の開催 | 1回 | ② 正副会長会議の開催 | 3回 |
| ③ 理事会の開催 | 2回 | ④ 講演会・セミナーの開催 | 3回 |

4. 商工会議所職員の人材育成及び経営指導員の支援力強化のための事業

県内商工会議所の役員・職員を対象に、商工会議所の円滑な運営、適切な事務執行に資するため、課題や階層を考慮した研修会を開催します。

特に、小規模事業者支援法の実施に伴い、経営発達支援計画に基づく伴走型の実行支援が求められていることから、会議所活動の中核を担う経営指導員の一層の支援力の強化に向けて、研修の充実を図るとともに、専門家（スーパーバイザー）が経営指導員の事業所訪問に同行する「現地指導型 OJT」を実施します。

(1) 商工会議所職員研修の実施

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ① トップセミナー | 1回（6月定時総会に引き続いて開催） |
| ② 幹部・中堅職員研修 | 1回 |
| ③ 新人研修（概ね採用後1年～3年の職員を対象） | 1回 |

(2) 経営指導員研修の実施

① 経営指導員研修（座学）の実施

8回

☆ ② 地域別研修の実施

3回（県内3地域で開催）

(3) 小規模事業者経営力支援事業の実施

① 現地指導型 OJT の実施・拡充

委嘱する専門家（スーパーバイザー）を複数に拡充し、経営指導員に対する「現地指導型 OJT」を実施します。

☆ 5. 商工会議所会員の福利厚生のための事業

県内商工会議所会員事業所の福利厚生事業の充実を図り、県内中小企業の成長・発展に資するため、当連合会による生命共済制度を実施します。

名称：神奈川県商工会議所連合会 生命共済制度

時期：平成30年8月開始

6. その他の事業

(1) 神奈川県及び国や関係機関・団体との協調・連携

地域経済活性化や商工業の振興、労働福祉等の諸課題について、神奈川県との意見交換の場の設定・充実を図るとともに、国等の関係機関及び各分野の関係団体とも情報の収集・交換に努め、協調・連携を図ります。

（主な取り組み）

① 県知事・副知事及び産業労働局幹部との意見交換の場並びに県政の各分野の部局・機関との情報収集・共有の場の設定・充実

☆ ② 経済産業省関東経済産業局長との意見交換会の開催（本年度は、トップセミナーとして6月定時総会後に開催）

③ 国土交通省関東地方整備局との意見交換会の開催

④ 東京地方税理士会との連絡会議の開催

(2) その他

① 商工会議所活動に必要な情報収集・提供

地域経済活性化や商工業の振興、労働福祉等の諸課題について、国や県等との橋渡しとなって商工会議所活動に必要な情報を収集・提供します。

② 国・県等主催会議への参加・協力と意見発表

政策の進展に伴い、国や県等が開催する各種会議も増加しており、要請を受けて会議等に参加するとともに、地域の総合的経済団体である商工会議所を代表して意見発表します。

③ その他

当連合会の目的達成に必要な又は適切と考えられる事業を実施します。